

**2016年3月期 第2四半期  
決算説明会資料**

**名古屋鉄道株式会社**

**【証券コード 9048】**

**2015年11月19日**

**I. 決算実績・予想サマリー**

**II. 2016年3月期 第2四半期 決算実績詳細**

**III. 2016年3月期 業績予想詳細**

**IV. 最近のトピック**

# **I. 決算実績・予想サマリー**

## **II. 2016年3月期 第2四半期 決算実績詳細**

## **III. 2016年3月期 業績予想詳細**

## **IV. 最近のトピック**

# 2015年度 決算実績・予想サマリー



	第2四半期				通期			
	実績	前期差		前回予想差	今回予想	前期差		前回予想差
営業収益	2,933 億円	+ 84 億円	+ 3.0 %	+ 23 億円	6,140 億円	+ 46 億円	+ 0.8 %	△ 20 億円
営業利益	過去最高 221 億円	+ 65 億円	+ 41.5 %	+ 54 億円	375 億円	△ 5 億円	△ 1.5 %	+ 34 億円
経常利益	過去最高 220 億円	+ 65 億円	+ 42.7 %	+ 61 億円	過去最高 369 億円	+ 11 億円	+ 3.1 %	+ 46 億円
四半期(当期)純利益※	過去最高 103 億円	+ 4 億円	+ 5.0 %	+ 14 億円	過去最高 210 億円	+ 32 億円	+ 18.1 %	+ 17 億円

※親会社株主に帰属する

前回予想・・・5月時点

前回予想・・・5月時点

## ◇第2四半期実績決算ポイント◇

### <対前期>

- 沿線地域の堅調な雇用状況を背景に、交通事業が好調に推移したことやマンション販売戸数の増加により増収。燃料費が減少したことにより、営業利益・経常利益とも大幅増益。減損損失が増加したものの、最終の四半期純利益も増益。

### <対前回予想>

- 交通事業の好調に加え、燃料費が期初見込みを下回り増収増益。
- 営業利益、経常利益、最終の四半期純利益は**過去最高益**。

## ◇通期業績予想ポイント◇

### <対前期>

- マンション販売戸数の減少による不動産事業の減収を交通事業やレジャー事業の増収が補い全体で増収。不動産事業における分譲収支の悪化や賃貸事業での経費増により営業利益はわずかに減益。最終の当期純利益は支払利息の減少や特別損益の改善により増益見込み。

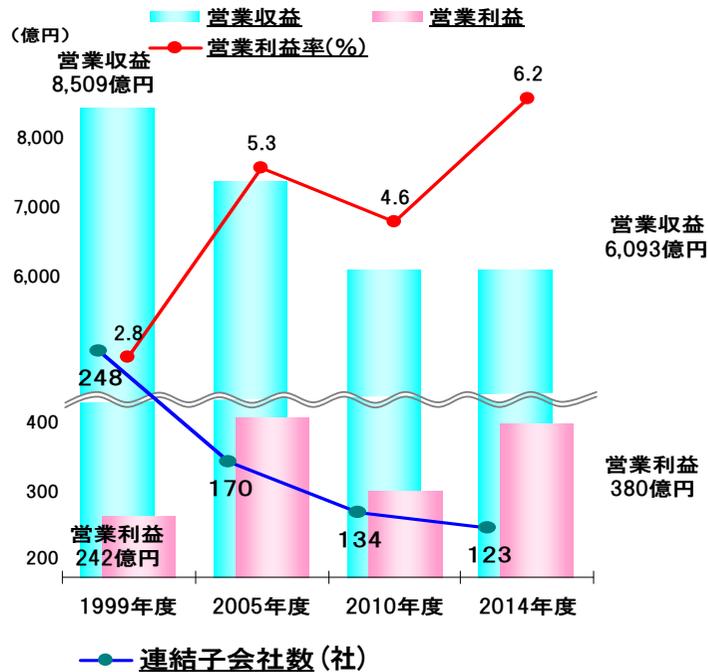
### <対前回予想>

- 運送事業や不動産事業での販売計画の見直しにより減収となるも、交通事業での増収や電力料・燃料費の減少により増益。
- 経常利益、最終の当期純利益は**過去最高益の見込み**。

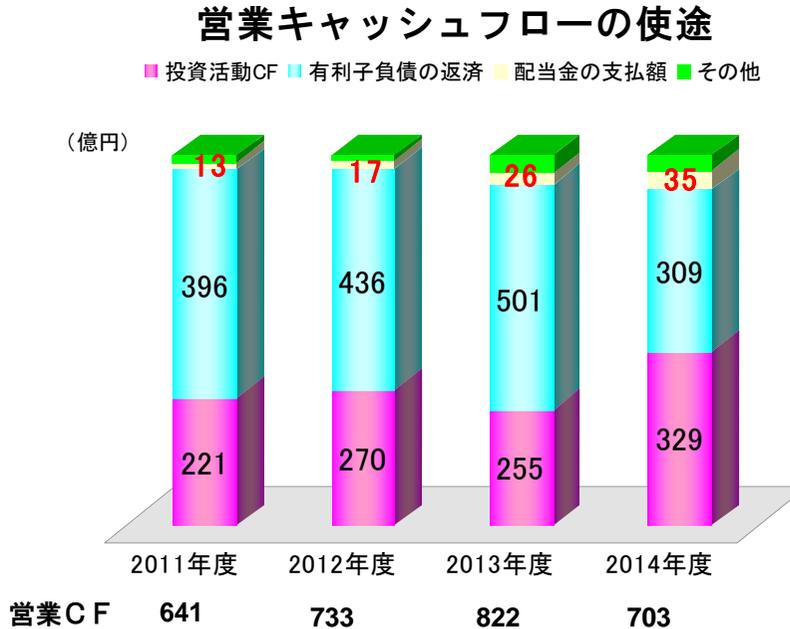
# (補足) 決算実績・予想サマリー



## ◆事業の選択と集中により経営効率は改善



## ◆株主還元と設備投資への割合高める



## ◆原油価格の下落の影響 (2015年度)

(単位：億円)	第2四半期		通期予想	
	対前年同期	対前回予想	対前年同期	対前回予想
燃料費減少額				
交通事業	△ 9.8	△ 5.1	△ 12.7	△ 8.8
運送事業	△ 15.2	△ 6.7	△ 18.0	△ 9.7
他	△ 1.3	△ 0.6	△ 0.7	△ 0.4
合計	△ 26.3	△ 12.4	△ 31.4	△ 18.9

※鉄道電力料を含む

# 中期経営計画～数値目標～



◆ROE、ROAは、営業利益、最終利益の上方修正で計画最終年度の目標と同水準となる見込み

	2015/03	(※5月時点)	(※11月時点)	2018/03 中計目標
		2016/03 前回予想	2016/03 今回予想	
ROE（純利益/自己資本）	7.0%	6.9%	7.5%	7.5%
ROA（営業利益/総資産）	3.6%	3.2%	3.5%	3.5%
純有利子負債/ EBITDA倍率（※）	6.2倍	6.5倍	6.2倍	6.0倍
株主資本比率	16.4%	17.8%	18.0%	20.0%

<参考>

DOE（配当総額/自己資本）	1.6%	1.6%	1.6%	1.5% ～2.0%
----------------	------	------	------	---------------

※純有利子負債：有利子負債－現預金・短期有価証券  
EBITDA：営業利益＋減価償却費

I. 決算実績・予想サマリー

II. 2016年3月期 第2四半期 決算実績詳細

III. 2016年3月期 業績予想詳細

IV. 最近のトピック

# 2016年3月期 第2四半期決算実績



( ) は増減率

※5月時点

(単位：百万円、%)

	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増減	摘 要	前回予想(※)	増減	前回予想との差異
営業収益	293,351	284,885	8,466 (3.0)		291,000	2,351 (0.8)	交通事業・不動産事業で増加
営業費用	271,185	269,221	1,963	商製品売上原価 +1,764 燃料費△2,632	274,300	△ 3,114	
営業利益	22,166	15,663	6,502 (41.5)		16,700	5,466 (32.7)	流通事業を除き増益
経常利益	22,012	15,428	6,584 (42.7)	営業外収益 △170 (持分法投資利益 △153) 営業外費用 △251 (支払利息 △451)	15,900	6,112 (38.4)	営業外収益+759 営業外費用+112
特別利益	2,148	1,971	176	固定資産売却益 +646	1,400	748	固定資産売却益の増加
特別損失	5,530	2,285	3,245	減損損失 +3,703	2,200	3,330	減損損失の増加
税金等調整前 四半期純利益	18,630	15,115	3,515 (23.3)		15,100	3,530 (23.4)	
法人税等	6,852	4,397	2,454		5,400	1,452	
非支配株主利益 ※1	1,386	822	564		800	586	
四半期純利益 ※2	10,391	9,895	496 (5.0)		8,900	1,491 (16.8)	

(※1) 非支配株主に帰属する四半期純利益 (※2) 親会社株主に帰属する四半期純利益

(※) 燃料費(鉄道電力料含む)の四半期対前期増減内訳・・・1Q △1,042 2Q △1,590

## 【連結子会社及び持分法適用会社の異動状況(対前期末)】

◆連結子会社121社(△2社)：増加1社  
：減少3社

◆持分法適用会社15社(一社)

名鉄協商パーキングサービス(新規設立)  
名鉄レジャック(被合併)、ケイビーエスオート(被合併)、  
夫婦岩パラダイス(株式譲渡)

# 2016年3月期 第2四半期セグメント別営業成績



※5月時点

(単位：百万円、%)

営業収益	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増減額	増減率	前回予想(※)	増減額	増減率
交通事業	82,669	79,038	3,631	4.6	81,000	1,669	2.1
運送事業	66,158	66,579	△ 420	△ 0.6	66,200	△ 42	△ 0.1
不動産事業	37,242	31,623	5,618	17.8	36,600	642	1.8
レジャー・サービス事業	27,692	26,754	937	3.5	27,800	△ 108	△ 0.4
流通事業	67,007	69,368	△ 2,360	△ 3.4	68,000	△ 993	△ 1.5
その他の事業	32,580	33,319	△ 739	△ 2.2	33,200	△ 620	△ 1.9
調整額	△ 19,998	△ 21,798	1,800	—	△ 21,800	1,802	—
合計	293,351	284,885	8,466	3.0	291,000	2,351	0.8

営業利益	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増減額	増減率	前回予想(※)	増減額	増減率
交通事業	12,514	8,136	4,378	53.8	9,200	3,314	36.0
運送事業	3,332	2,266	1,065	47.0	2,600	732	28.2
不動産事業	3,581	3,377	204	6.0	2,900	681	23.5
レジャー・サービス事業	1,175	453	721	159.2	1,000	175	17.5
流通事業	6	11	△ 4	△ 42.6	200	△ 194	△ 97.0
その他の事業	1,277	1,122	154	13.7	700	577	82.4
調整額	279	295	△ 16	—	100	179	—
合計	22,166	15,663	6,502	41.5	16,700	5,466	32.7

前年同期比では、「交通事業」「不動産事業」「レジャー・サービス事業」で増収・増益  
「運送事業」「その他の事業」で減収・増益  
「流通事業」で減収・減益

# 交通事業



(単位：百万円、%)

	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増減額	増減率	摘要
営業収益	82,669	79,038	3,631	4.6	鉄軌道事業、バス事業における輸送人員の増加などにより増収
営業利益	12,514	8,136	4,378	53.8	増収に加え、燃料費の減少もあり増益

## ◆交通事業の内訳◆

(単位：百万円、%)

	営業収益				営業利益			
	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増減額	増減率	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増減額	増減率
鉄軌道事業	46,006	44,080	1,926	4.4	8,042	5,980	2,062	34.5
バス事業	24,887	23,477	1,409	6.0	3,361	1,501	1,860	123.9
タクシー事業	14,152	13,853	298	2.2	961	432	528	122.0
調整額	△ 2,376	△ 2,373	△ 3	—	148	221	△ 72	—
交通事業計	82,669	79,038	3,631	4.6	12,514	8,136	4,378	53.8

## <名古屋鉄道 運輸成績>

(単位：百万円、%)

旅客収入	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増減率
定期外	23,633	22,825	3.5
定期	19,087	18,219	4.8
計	42,721	41,045	4.1

(単位：千人、%)

輸送人員	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増減率
定期外	60,690	58,683	3.4
定期	129,118	122,667	5.3
計	189,808	181,350	4.7

(注)定期外旅客収入には特別車両料金を含む。

# 運送事業



(単位：百万円、%)

	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増減額	増減率	摘要
営業収益	66,158	66,579	△ 420	△ 0.6	トラック事業で前年並となったものの、海運事業の減収により全体でも減収
営業利益	3,332	2,266	1,065	47.0	燃料費の減少により増益

## ◆運送事業の内訳◆

(単位：百万円、%)

	営業収益				営業利益			
	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増減額	増減率	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増減額	増減率
トラック事業	74,785	74,772	13	0.0	2,334	1,519	815	53.7
海運事業	8,915	9,125	△ 210	△ 2.3	1,002	744	258	34.7
調整額	△ 17,542	△ 17,318	△ 223	—	△ 4	3	△ 7	—
運送事業計	66,158	66,579	△ 420	△ 0.6	3,332	2,266	1,065	47.0

# 不動産事業



(単位：百万円、%)

	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増減額	増減率	摘要
営業収益	37,242	31,623	5,618	17.8	賃貸事業で前期に連結加入した会社の収入寄与や駐車場事業の拡大により増収となったことに加え、分譲マンションの引渡戸数の増加もあり増収
営業利益	3,581	3,377	204	6.0	賃貸事業での増収により増益

## ◆不動産事業の内訳◆

(単位：百万円、%)

	営業収益				営業利益			
	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増減額	増減率	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増減額	増減率
賃貸事業	24,770	23,094	1,675	7.3	4,269	3,835	434	11.3
分譲事業	14,521	10,167	4,353	42.8	△ 725	△ 426	△ 299	—
調整額	△ 2,049	△ 1,638	△ 410	—	37	△ 31	69	—
不動産事業計	37,242	31,623	5,618	17.8	3,581	3,377	204	6.0

## <名鉄不動産のマンション分譲戸数>

(単位：戸数、%)

	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増減率
マンション引渡戸数(計)	394	235	67.7
名古屋	91	63	44.4
東京	250	153	63.4
大阪	53	19	178.9

# レジジャー・サービス事業



(単位：百万円、%)

	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増減額	増減率	摘 要
営業収益	27,692	26,754	937	3.5	ホテル事業におけるインバウンド利用が好調であったことに加え、レストラン事業における新規店舗の通期寄与などにより増収
営業利益	1,175	453	721	159.2	増収による増益

## ◆レジジャー・サービス事業の内訳◆

(単位：百万円、%)

	営業収益				営業利益			
	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増減額	増減率	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増減額	増減率
ホテル事業	8,327	7,829	498	6.4	617	242	375	155.1
観光施設事業	13,155	12,633	521	4.1	1,013	438	575	131.3
旅行事業	6,537	6,641	△ 103	△ 1.6	△ 478	△ 261	△ 217	—
調整額	△ 327	△ 348	20	—	22	34	△ 11	—
レジジャー・ サービス事業 計	27,692	26,754	937	3.5	1,175	453	721	159.2

# 流通事業



(単位：百万円、%)

	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増減額	増減率	摘 要
営業収益	67,007	69,368	△ 2,360	△ 3.4	百貨店業での減収や石油販売価格の下落もあり減収
営業利益	6	11	△ 4	△ 42.6	減収による減益

## ◆流通事業の内訳◆

(単位：百万円、%)

	営業収益				営業利益			
	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増減額	増減率	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増減額	増減率
百貨店業	34,171	35,534	△ 1,363	△ 3.8	△ 428	△ 313	△ 115	—
その他物品販売	33,379	34,484	△ 1,104	△ 3.2	431	320	111	34.9
調整額	△ 543	△ 650	107	—	3	4	△ 1	—
流通事業計	67,007	69,368	△ 2,360	△ 3.4	6	11	△ 4	△ 42.6

# その他の事業



(単位：百万円、%)

	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増減額	増減率	摘 要
営業収益	32,580	33,319	△ 739	△ 2.2	設備工事の受注減少等により減収
営業利益	1,277	1,122	154	13.7	航空事業の増益が寄与

## ◆その他の事業の内訳◆

(単位：百万円、%)

	営業収益				営業利益			
	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増減額	増減率	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増減額	増減率
設備保守整備事業	11,308	12,805	△ 1,496	△ 11.7	△ 184	△ 218	34	—
航空事業	9,487	9,329	157	1.7	920	494	425	86.1
ビルメンテナンス事業	1,902	1,870	31	1.7	81	73	8	11.4
その他	10,733	10,255	478	4.7	481	782	△ 300	△ 38.4
調整額	△ 851	△ 941	89	—	△ 22	△ 8	△ 13	—
その他の事業 計	32,580	33,319	△ 739	△ 2.2	1,277	1,122	154	13.7

# 営業外損益・特別損益



(単位：百万円)

	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増減額	摘 要
営業外収益	3,059	3,229	△ 170	
受取利息	23	27	△ 4	
受取配当金	893	765	127	ANAホールディングス配当増
持分法による投資利益	1,322	1,475	△ 153	矢作建設グループ投資利益減
その他	820	960	△ 139	
営業外費用	3,212	3,464	△ 251	
支払利息	2,468	2,920	△ 451	
その他	744	544	200	
営業外損益 計	△ 153	△ 234	81	
特別利益	2,148	1,971	176	
固定資産売却益	1,257	611	646	(当期) 賃貸土地等、バス車両
工事負担金等受入額	558	1,045	△ 486	(当期) 阿久比駅バリアフリー化等
投資有価証券売却益	234	60	174	
その他	97	254	△ 157	
特別損失	5,530	2,285	3,245	
減損損失	3,963	260	3,703	(当期) レジャー施設土地等
工事負担金等圧縮額	520	1,030	△ 510	(当期) 阿久比駅バリアフリー化等
固定資産売却損	266	58	208	
その他	779	936	△ 156	
特別損益 計	△ 3,382	△ 313	△ 3,068	

# 連結貸借対照表



(単位：百万円)

	2016/3 第2四半期末	2015/3 期末	増減額	摘 要								
流動資産	164,680	156,620	8,060	分譲マンション建設等による「分譲土地建物」の増加								
固定資産	906,685	910,365	△ 3,680	<table border="1"> <tr> <td>設備投資</td> <td>+20,926</td> </tr> <tr> <td>減価償却費</td> <td>△19,204</td> </tr> <tr> <td>減損損失</td> <td>△3,963</td> </tr> <tr> <td>除却</td> <td>△173</td> </tr> </table>	設備投資	+20,926	減価償却費	△19,204	減損損失	△3,963	除却	△173
設備投資	+20,926											
減価償却費	△19,204											
減損損失	△3,963											
除却	△173											
有形固定資産	773,363	776,266	△ 2,903									
無形固定資産	9,511	10,069	△ 557									
投資その他の資産	123,810	124,030	△ 219									
資産合計	1,071,366	1,066,985	4,380									
流動負債	242,596	256,391	△ 13,794	設備工事代の支払による「支払手形及び買掛金」の減少								
固定負債	529,407	519,109	10,297	社債の増加								
負債合計	772,003	775,501	△ 3,497									
純資産合計	299,362	291,484	7,878	株主資本 +4,440 親会社株主に帰属する四半期純利益 +10,391 剰余金の配当△4,138 その他の包括利益累計額 +2,175								
負債純資産合計	1,071,366	1,066,985	4,380									
連結有利子負債合計	503,682	493,935	9,746	〔参考〕純有利子負債残高 482,723 (前期末比 +5,294)								

# 連結キャッシュ・フロー計算書



(単位：百万円)

	2016/3 第2四半期	2015/3 第2四半期	増減額	摘要
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,963	14,462	3,500	税金等調整前四半期純利益の増加
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 17,355	△ 16,890	△ 465	固定資産の取得による支出の増加
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,727	△ 3,207	6,934	長期借入金の返済による支出の減少
現金及び現金同等物の期末残高	20,112	7,764	12,347	

**I. 決算実績・予想サマリー**

**II. 2016年3月期 第2四半期 決算実績詳細**

**III. 2016年3月期 業績予想詳細**

**IV. 最近のトピック**

# 2016年3月期 連結業績予想



※5月時点

(単位：百万円、%)

	2016/3 今回予想	2015/3 実績	増減額	増減率	2016/3 前回予想(※)	増減額	増減率
営業収益	614,000	609,380	4,620	0.8	616,000	△ 2,000	△ 0.3
営業利益	37,500	38,072	△ 572	△ 1.5	34,100	3,400	10.0
営業外収益	5,400	5,642	△ 242		5,100	300	
営業外費用	6,000	7,918	△ 1,918		6,900	△ 900	
経常利益	36,900	35,796	1,104	3.1	32,300	4,600	14.2
特別利益	6,100	4,884	1,216		3,600	2,500	
特別損失	10,300	10,898	△ 598		6,400	3,900	
親会社株主に帰属する 当期純利益	21,000	17,788	3,212	18.1	19,300	1,700	8.8
設備投資額	50,600	44,810	5,790	12.9	50,600	—	—
減価償却費	39,000	38,707	293	0.8	39,000	—	—
純有利子負債	475,000	477,428	△ 2,428	△ 0.5	475,000	—	—

前回予想（5月11日公表）に比べ、交通事業が堅調に推移するものの、運送・不動産・流通・レジャーの各事業で当初の想定を下回る見込みとなり、全体で減収となる予想。一方、営業利益は、交通・運送事業を中心に燃料費（電力料含む）が当初の想定を下回ることなどにより、全体で増益の予想。経常利益は、支払利息の減少等もあり、増益予想。最終の当期純利益も、特別損失は増加するものの、前回予想を上回る見通し。

# 2016年3月期 セグメント別営業成績予想



※5月時点 (単位：百万円、%)

営業収益	2016/3 今回予想	2015/3 実績	増減額	増減率	2016/3 前回予想(※)	増減額	増減率	前回予想との差異
交通事業	162,900	158,893	4,007	2.5	160,800	2,100	1.3	バス事業、鉄軌道で増収
運送事業	132,600	133,028	△ 428	△ 0.3	134,500	△ 1,900	△ 1.4	トラック事業での貨物取扱量が当初の見込みから減少
不動産事業	90,100	92,077	△ 1,977	△ 2.1	92,000	△ 1,900	△ 2.1	マンション販売戸数が当初見込みを下回る
レジャー・サービス事業	54,600	53,504	1,096	2.0	55,700	△ 1,100	△ 2.0	第2四半期に譲渡した子会社の下期収入の剥落と旅行業などの下方修正
流通事業	139,400	141,327	△ 1,927	△ 1.4	141,300	△ 1,900	△ 1.3	百貨店業、石油販売の減収による
その他の事業	75,200	74,505	695	0.9	75,200	0	0.0	
調整額	△ 40,800	△ 43,957	3,157	—	△ 43,500	2,700	—	
合計	614,000	609,380	4,620	0.8	616,000	△ 2,000	△ 0.3	

営業利益	2016/3 今回予想	2015/3 実績	増減額	増減率	2016/3 前回予想(※)	増減額	増減率	前回予想との差異
交通事業	19,300	15,736	3,564	22.6	16,000	3,300	20.6	増収に加え、電力料・燃料費の減少を見込む
運送事業	5,100	4,659	441	9.5	4,100	1,000	24.4	運送委託料等経費削減による効率化に加え、燃料費の減少を見込む
不動産事業	8,200	11,955	△ 3,755	△ 31.4	8,400	△ 200	△ 2.4	
レジャー・サービス事業	1,300	781	519	66.5	1,400	△ 100	△ 7.1	
流通事業	900	819	81	9.9	1,300	△ 400	△ 30.8	
その他の事業	2,200	3,619	△ 1,419	△ 39.2	2,300	△ 100	△ 4.3	
調整額	500	500	0	—	600	△ 100	—	
合計	37,500	38,072	△ 572	△ 1.5	34,100	3,400	10.0	

# 2016年3月期 EBITDA・設備投資額予想



(単位：百万円)

		2016/3 今回予想	2015/3 実績	増減額			2016/3 今回予想	2015/3 実績	増減額
交通事業	営業利益	19,300	15,736	3,564	レジャー・ サービス事業	営業利益	1,300	781	519
	減価償却費	18,900	18,962	△62		減価償却費	1,300	1,457	△157
	E B I T D A	38,200	34,699	3,501		E B I T D A	2,600	2,238	362
	設備投資額	17,300	14,158	3,142		設備投資額	1,400	1,672	△272
運送事業	営業利益	5,100	4,659	441	流通事業	営業利益	900	819	81
	減価償却費	5,800	5,504	296		減価償却費	1,400	1,369	31
	E B I T D A	10,900	10,163	737		E B I T D A	2,300	2,189	111
	設備投資額	8,300	5,108	3,192		設備投資額	2,200	2,244	△44
不動産事業	営業利益	8,200	11,955	△3,755	その他の事業	営業利益	2,200	3,619	△1,419
	減価償却費	6,000	5,859	141		減価償却費	6,500	6,149	351
	E B I T D A	14,200	17,815	△3,615		E B I T D A	8,700	9,769	△1,069
	設備投資額	15,400	13,023	2,377		設備投資額	6,000	8,603	△2,603

合計 (連結間調整後)	営業利益	37,500	38,072	△572
	減価償却費	39,000	38,707	293
	E B I T D A	76,500	76,780	△280
	設備投資額	50,600	44,810	5,790

## 2015年度 主な設備投資計画

- 交通事業・・・鉄道車両新造
- 運送事業・・・トラック事業での支店再編
- 不動産事業・・・賃貸物件の開発・取得



2200系

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

## (ご参考) 補足資料

### <個別業績予想>

(単位：百万円)

	2016/3 今回予想	2015/3 実績	増減額	摘要
営業収益	105,100	102,900	2,199	鉄軌道事業は増収、開発事業は減収
営業利益	15,500	15,923	△ 423	営業費の増加により減益
経常利益	17,500	18,534	△ 1,034	受取配当金の減少等により営業外損益が悪化
当期純利益	7,700	9,127	△ 1,427	特別損益の悪化等により減益

### <名古屋鉄道 運輸成績予想>

(単位：百万円、%)

(単位：千人、%)

旅客収入	2016/3 今回予想	2015/3	増減率	輸送人員	2016/3 今回予想	2015/3	増減率
定期外	47,161	45,958	2.6	定期外	121,120	118,135	2.5
定期	37,434	36,228	3.3	定期	249,910	241,978	3.3
計	84,595	82,187	2.9	計	371,030	360,113	3.0

(注)定期外旅客収入には特別車両料金を含む。

### <1株当たり配当金>

(単位：円)

	2016/3 (今回予想)	2015/3
配当金額	5.00	4.50

**I. 決算実績・予想サマリー**

**II. 2016年3月期 第2四半期 決算実績詳細**

**III. 2016年3月期 業績予想詳細**

**IV. 最近のトピック**

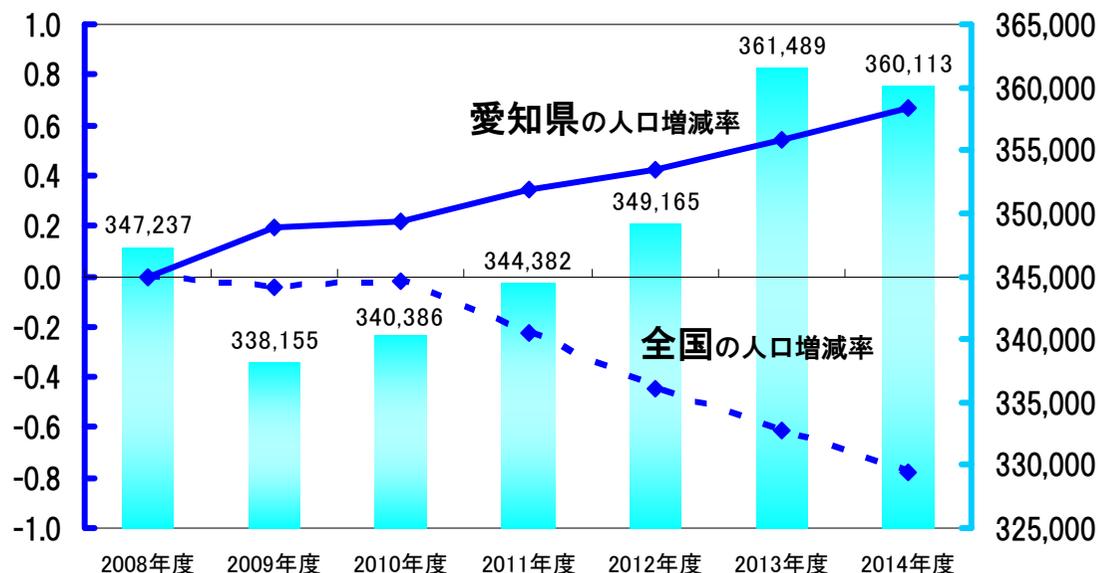
# 営業エリアの人口動態と鉄軌道輸送人員の推移



## ◆人口動態と輸送人員

人口増減率

輸送人員 (千人)

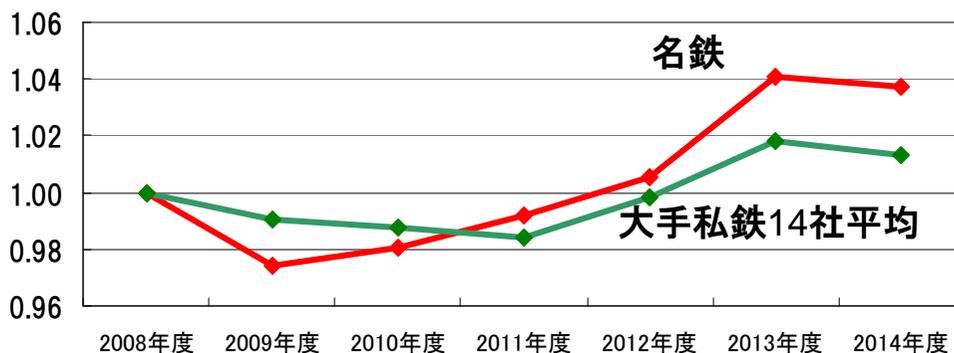


<沿線市町村における人口増加率>

●阿久比町 (河和線)	+10.7 %
●日進市 (豊田線)	+8.0 %
●常滑市 (常滑線・空港線)	+6.0 %
●安城市 (名古屋本線・西尾線)	+3.0 %
●刈谷市 (名古屋本線・三河線)	+1.8 %
●名古屋市 (名古屋本線・常滑線・築港線・ 瀬戸線・犬山線・小牧線)	+1.1 %
<b>&lt;参考&gt;</b>	
愛知県全体	+0.7 %
※ 2008年10月1日時点と 2014年10月1日時点の比較	

## ◆輸送人員の増減率 (名鉄・大手私鉄14社)

輸送人員増減率



※08年度を1とする指数

※人口増減率は、2008年度を基準とする指数

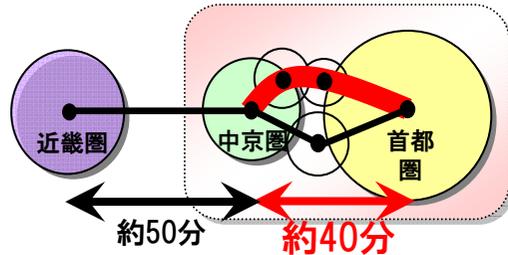
# 2027年リニア開通後の名古屋の街の姿①

## ◆世界に冠たるスーパーターミナル・ナゴヤへ

～国際レベルのターミナル駅を有する魅力と活力にあふれるまち～

高いレベルの機能性を備えたまちづくりを着実に進めるとともに、広く叡智を集め、世界の人々が集まり、魅了し続けるまちへ

2027年には「リニア大都市圏」が形成される



東京・名古屋圏 47百万人  
東京・名古屋・大阪圏 70百万人

日本列島の交流拠点の  
玄関口に



- 国際的・広域的な役割を担う圏域の拠点・顔を目指す
- 誰にも使いやすい国際レベルのターミナル駅をつくる
- 都心における多彩な魅力をもったまちをつくり、つないでいく



○東京⇒大阪の通過駅から名古屋が日本列島におけるビジネス・観光の交流の要（中心）となる

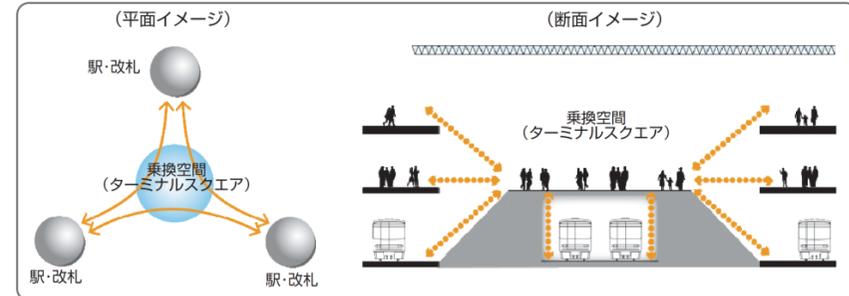
※出典、参考 名古屋駅周辺まちづくり構想（名古屋市）

# 2027年リニア開通後の名古屋の街の姿②

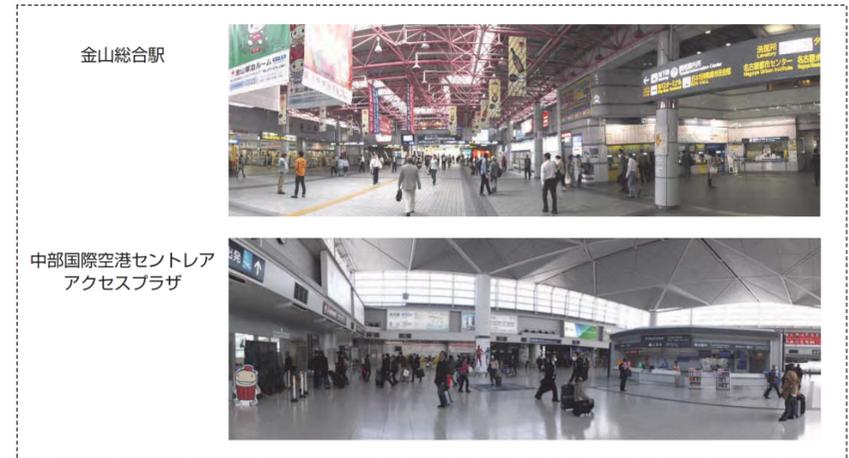
## ◆誰にも使いやすい国際レベルのターミナル駅を



### ◆（仮称）ターミナルスクエアのイメージ



### ◆わかりやすい乗換空間の例



**○リニアと各交通機関との結節性を確保**

- 東海道新幹線との接続に加え、栄などの都心方面、中部国際空港、観光地、周辺都市とつなぐ鉄道や自動車交通とのスムーズでスピーディな乗換を確保すると共に、わかりやすく利用しやすい空間を形成する。

**○（仮称）ターミナルスクエアの形成**

- 複数の交通機関相互の乗換動線や、駅とまちをつなぐ動線が交差する箇所において、動線の整流化やわかりやすさ、利便性向上のため、乗換先が一目で見渡せ、上下移動も円滑にでき、案内機能も備えた広場空間「（仮称）ターミナルスクエア」を形成する。

※出典、参考 名古屋駅周辺まちづくり構想（名古屋市）

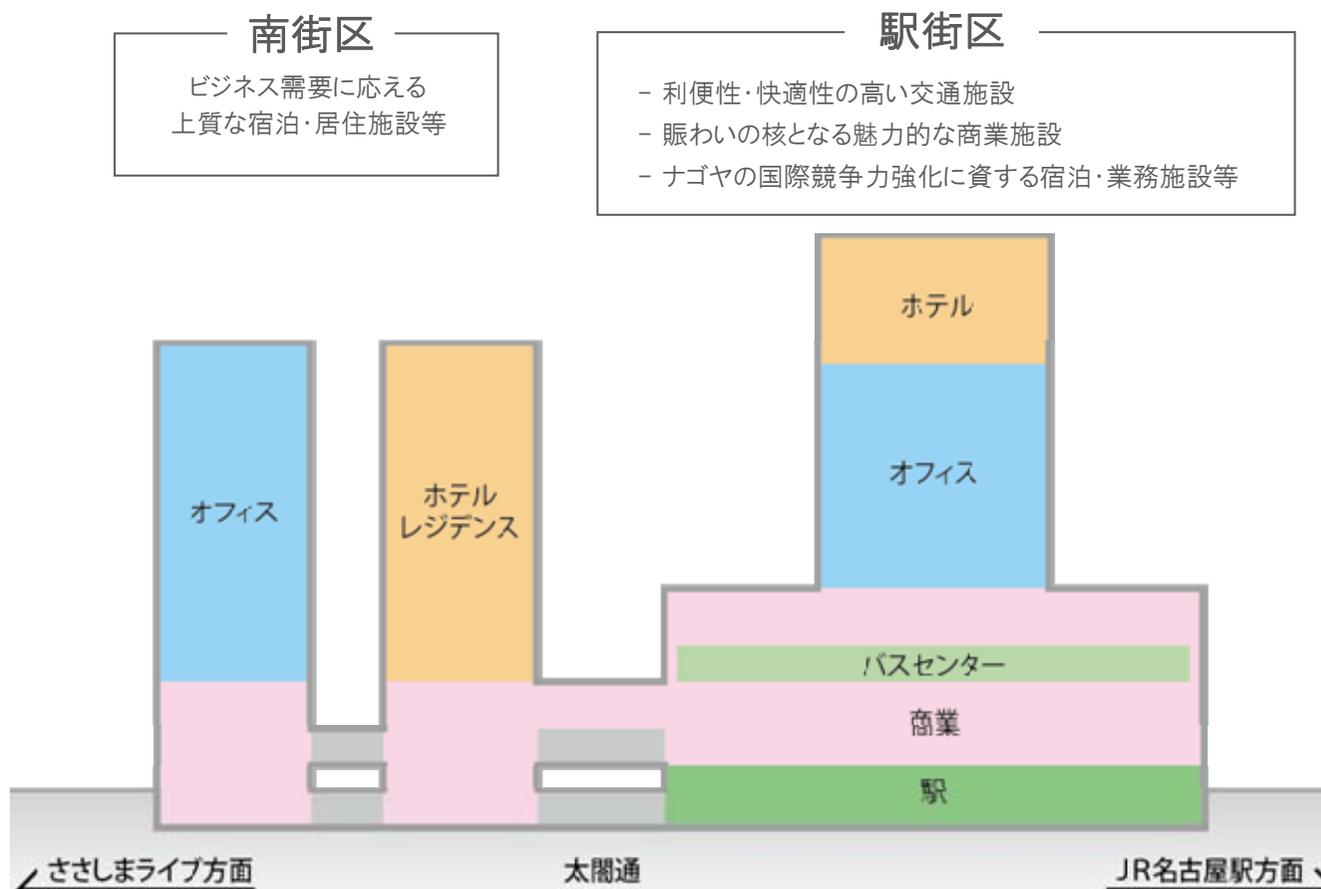
# 名駅再開発の具体化に向けた事業戦略の推進①

検討イメージ

用途構成(案)

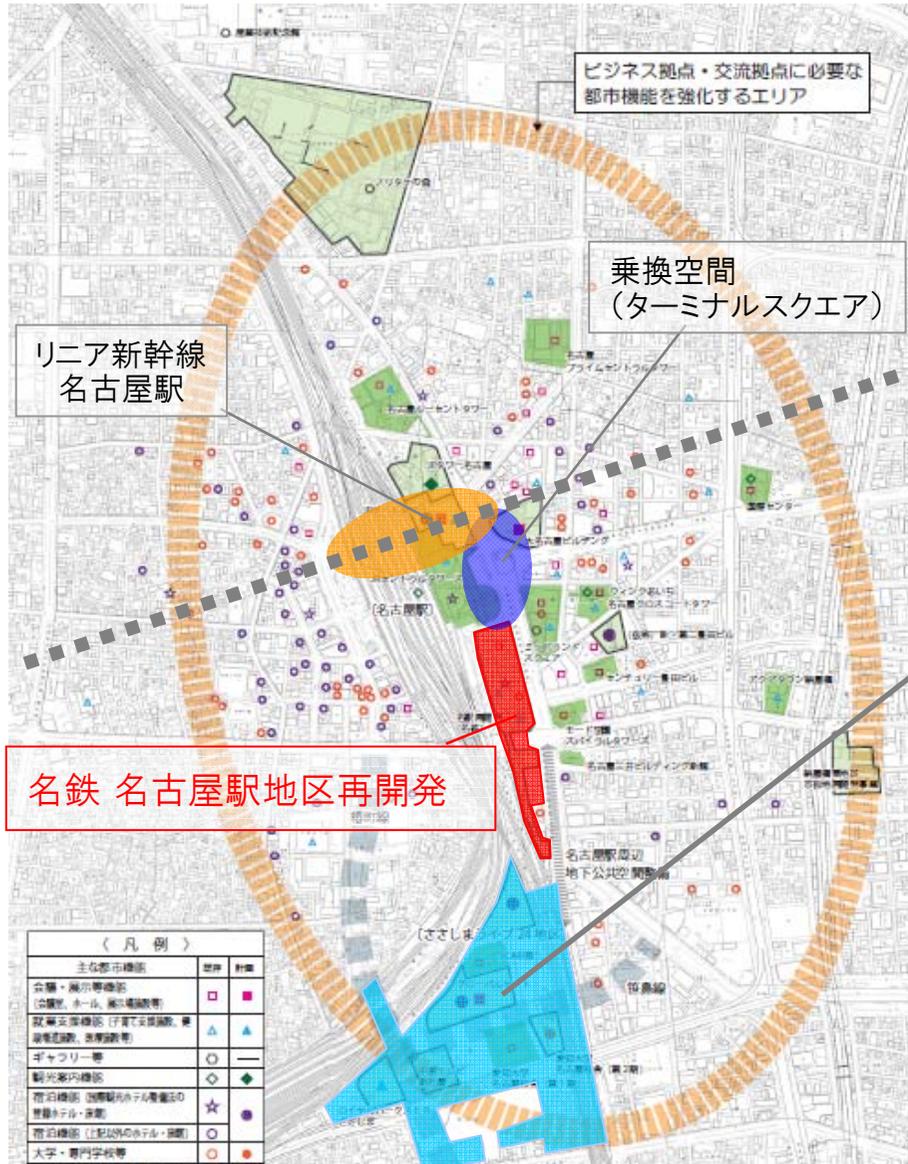
## 目標スケジュール

2016年度末迄	再開発全体計画作成 再開発事業合意
2017年度～	都市計画等必要な手続
2027年度	駅機能整備完成



(注)本資料は現時点での検討段階のイメージを示したものであり、決定したものではありません。  
今後周辺地権者・行政等との協議により変更となる場合があります。

# 名駅再開発の具体化に向けた事業戦略の推進②



名古屋市「名古屋駅周辺まちづくり構想」をもとに作成

## 「ささしまライブ24」地区

### ① THE ART GRACE

延床面積—約15,000㎡  
階数・高さ—8階・高さ約34m  
建物用途—プライダル施設、ホテル等



### ② マーケットスクエアささま

(シネマコンプレックス、フットサル、  
物販、飲食、ゲームセンター)  
延床面積—約18,900㎡  
階数・高さ—5階・高さ約30m



### ③ Zepp Nagoya

(ライブホール)  
延床面積—約2,500㎡  
階数・高さ—2階・高さ約16m



### ④ JICA中部国際センター

延床面積—約6,000㎡  
階数・高さ—6階・高さ22m  
建物用途—国際交流・研修施設



### ⑤ 愛知大学名古屋キャンパス

延床面積—約63,000㎡ (⑤) 約15,000㎡ (⑥)  
階数・高さ—地上11階・地下1階・高さ68m (⑤)  
地上20階・地下1階・高さ約94m (⑥)  
建物用途—大学、コンベンションホール等

### ⑥ 中京テレビ放送

延床面積—約30,000㎡  
階数・高さ—11階・高さ約55m (電波塔145m)  
建物用途—放送局



完成予想バース

### ⑦ グローバルゲート

延床面積—約157,000㎡  
階数・高さ—[WESTタワー]  
地上37階・地下2階  
高さ約170m  
[EASTタワー]  
地上18階・地下2階  
高さ約90m

建物用途—事務所、ホテル、  
コンファレンス、商業、  
サステイナブル・ミュージアム等



### ⑧ ロイヤルパークスERささま

延床面積—約46,000㎡  
階数・高さ—19階・高さ約60m  
建物用途—賃貸住宅、シェアルーム、  
有料老人ホーム、  
デイサービス、  
保育園、店舗



外観バース

名古屋市「ささしまライブ24」パンフレットより

# 名駅地区の現況

## ◆名鉄 名古屋駅再開発地区の「北側」

名古屋駅前より北側の現況(2015年11月)



- ・ 大名古屋ビルディング (2015年10月竣工)  
地上34階 地下4階 延べ床面積約148,000㎡
- ・ JPタワー名古屋 (2015年11月竣工)  
地上40階 地下3階 延べ床面積約180,000㎡
- ・ JRゲートタワー (2017年4月開業予定)  
地上46階 地下6階 延べ床面積約260,000㎡

名駅地区開発エリアの広がりにより

⇒就労人口の増加

名駅地区のプレゼンス向上

## ◆名鉄 名古屋駅再開発地区の「南側」

「ささしまライブ24」地区の現況(2015年11月)



↓北側より対象地区を望む



↑基礎工事が進むグローバルゲート

### ◆グローバルゲート (名鉄不動産を含む5社の共同事業)



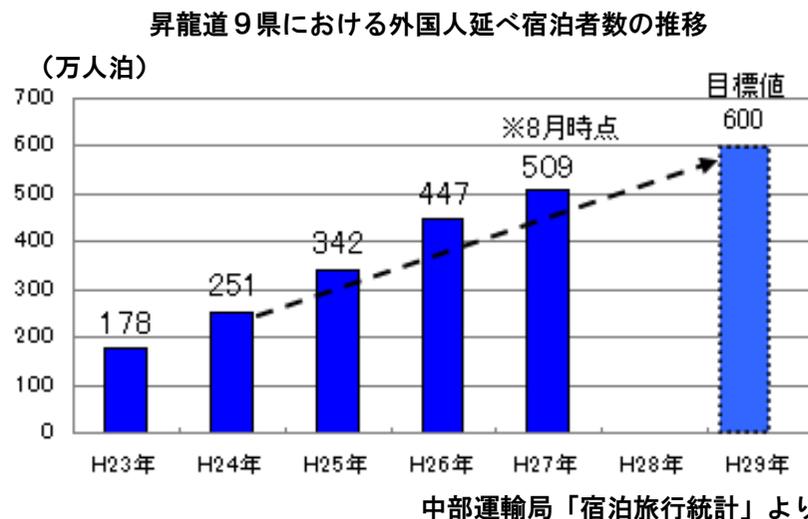
○ささしまライブ24の中核施設

- ・ ウエストタワー (地上36階)  
のホテル施設としてプリンス  
ホテルが入居予定
- ・ 2017年3月竣工予定

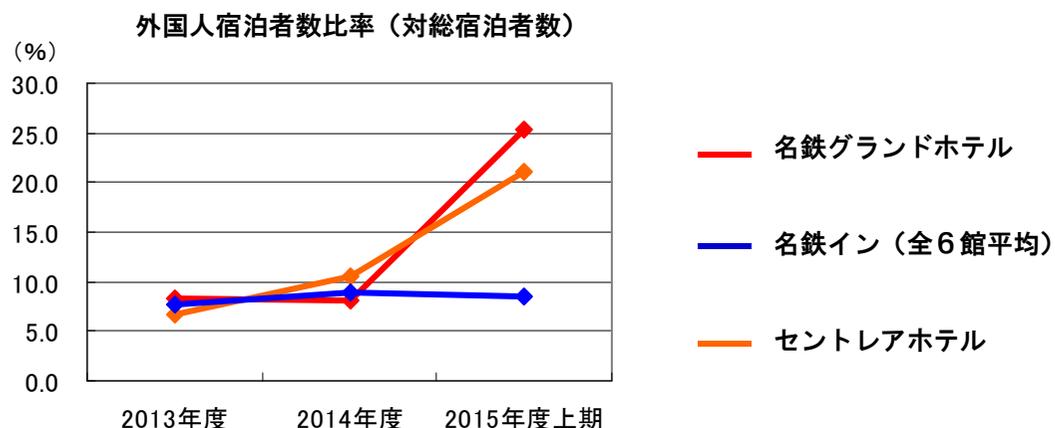
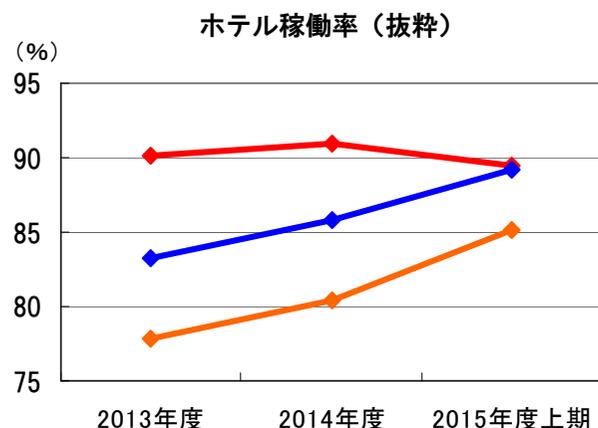
## 訪日観光客の状況

### ◆昇龍道エリアにおける訪日外国人旅行者数について

- 官民一体となった積極的な誘致活動により昇龍道エリアを訪れる訪日外国人旅行者が大幅に増加。本年8月末時点で前年1年間の外国人延べ宿泊者数447万人を上回る509万人を記録
- 当社グループも昇龍道プロジェクトと連携し、海外に向けたプロモーションや受入環境の整備等を積極的に実施



### ◆名鉄グループ主要各ホテルの稼働率と外国人宿泊者比率



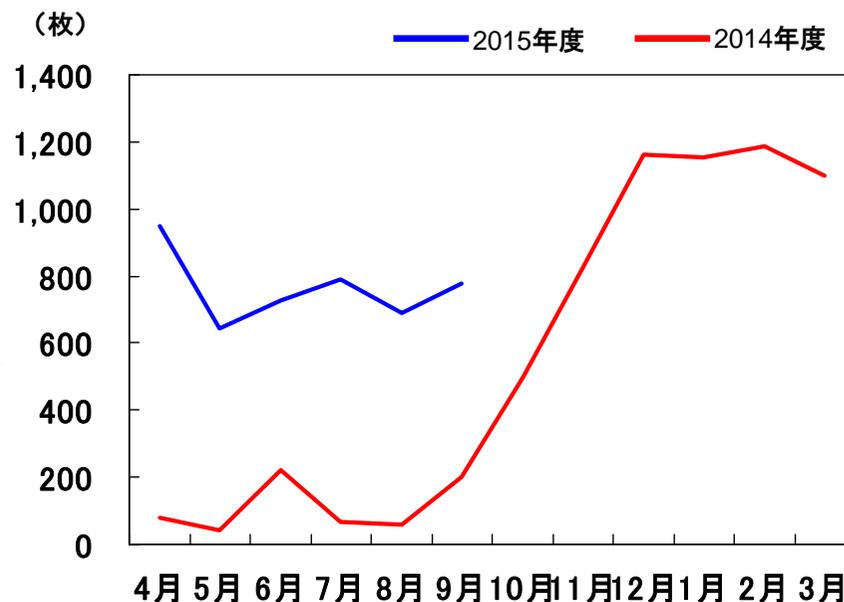
## 訪日観光客への対応を強化

### ◆昇龍道高速バスきっぷのリニューアルと拡充 (2015年10月)

- 3日券 7,000円  
利用可能路線に富山とセントレアリムジンを追加
- 5日券 14,000円  
利用可能期間を5日間・利用可能路線を松本や新穂高など14路線に拡大したワイド版を新発売



### ◆昇龍道高速バスきっぷの販売状況



### ◆海外向けテレビCMの放映開始 (2015年10月～)

- 放映国：東アジアや東南アジアをはじめとする16カ国・地域
- 放送期間：2015年10月～2016年3月末 (予定)
- 対応言語：英語、ベトナム語、タイ語  
～日本の文化と昇龍道エリアの観光施設を紹介～

### ◆その他取り組み事例



インバウンド用プロモーション動画を制作し、ウェブ等で公開



海外プロモーションに積極的に参加

# グループ会社の取り組み①

## 駐車場事業の拡大

◆コインパーキングを中心とした駐車場事業の展開



- ・業界3位
- ・中部エリアシェアNo.1

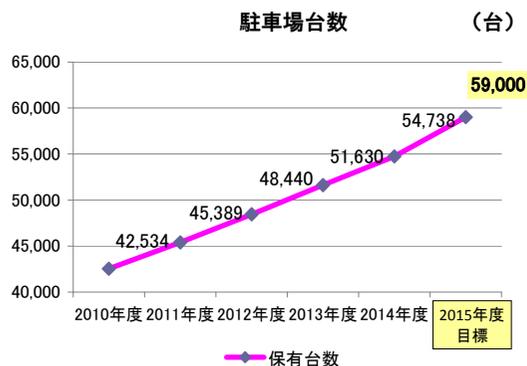
○駐車場事業：2,316箇所  
約56,000台の管理体制  
(2015年9月末時点)

**+275箇所増設**  
(第2四半期前年同期比)



◆今後ますます拡大する駐車場事業に対応可能な運営管理体制を確立するため、「名鉄協商パーキングサービス㈱」を設立 (2015年5月)

○管理コストのグループ内製  
化とサービスの向上を図る



## レストラン事業の拡大

◆ハイウェイレストランの魅力向上に加え、郊外型店舗の新規出店継続



道の駅「もっくる新城」運営受託 (2015年3月)



「らの壺」知立店 (2015年7月)  
※16店舗目(SA店舗除く)

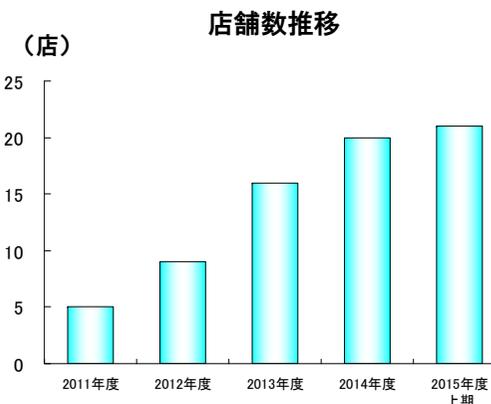
## 駅ナカコンビニの拡大

◆ファミリーマート エスタシオの新規出店継続

「犬山店」 (2015年3月OPEN)



「東岡崎店」 (2015年9月OPEN)



## グループ連携、事業の見直し等による効率化

### ◆名鉄運輸 関東地区支店再編

- ・ 深川支店（東京都江東区）を閉鎖し、新たに千葉県野田市に支店建設  
⇒「運送業務効率の向上」



### ◆支店跡地の不動産開発

- ・ 深川支店の土地を名鉄不動産へ売却（2017年3月予定）  
⇒グループ資産の高収益化

所在地：東京都江東区扇橋一丁目 11,143㎡

## 収益性の向上に資する戦略投資の実施

### ◆ビジネスホテルの新規出店

#### 名鉄イン浜松町 ※首都圏初出店



所在地：東京都港区浜松町  
総客室：144室  
開業予定：2016年3月

#### 名鉄イン名古屋駅新幹線口 ※愛知県内7店舗目



所在地：名古屋市中村区  
総客室：313室  
開業予定：2016年秋

○その他賃貸物件の取得や開発についても今年度中に進める予定

## 開村50周年を迎え、さまざまな取り組みを実施

### ◆博物館明治村の概要



- ・ 展示建造物 67棟
- ・ 国指定重要文化財 12件
- ・ 財団法人明治村が運営

### ◆入場人員の推移



### ◆開村50周年事業



- ・ 2015年3月に開村50周年と新村長の就任を祝い、パレードを開催
- ・ 市電「名電1号形」の展示、SL復活運転等

### ◆体験型イベントの開催



### ◆映画・ドラマのロケーション事業

**映画・ドラマロケ地**

NHKドラマ「坂の上の雲」をはじめ、たくさんの映画やドラマのロケが行われています。平成22年には、人気バラエティ番組「逃走中」の撮影も行われました。

- 帝国ホテル中央玄関
  - ・CM「ロッチェFit's」(平成23年)
  - ・NHKドラマ「負けて、勝つ〜戦後を創った男〜」(平成24年)
- 金沢監獄中央看守所・監房
  - ・映画「坂尾路の脱獄王」(平成20年)
- 呉服座(くれはざ)
  - ・NHKドラマ「坂の上の雲(第1部)」(平成20年)
- 聖サビエル天主堂
  - ・映画「クロサギ」(平成19年)
  - ・映画「さよならピュッシー」(平成24年)
- 第四高等学校武術道場「無声堂」
  - ・NHKドラマ「15歳の志願兵」(平成22年)
  - ・NHK「タイムスクープハンター シーズン4」(平成24年)
  - ・映画「謝罪の王様」(平成24年)
- レンガ通り
  - ・NHKドラマ「ごちそうさん」(平成25年)
- 三重県庁舎
  - ・NHKドラマ「坂の上の雲(第1部)」(平成20年)
  - ・映画「鍋島 貞の記」(平成20年)
  - ・テレビ朝日ドラマ「京都・権陣師の殺人」(平成23年)
- 日本赤十字社中央病院病棟
  - ・映画「春の嵐」(平成17年)
  - ・NHKドラマ「坂の上の雲(第3部)」(平成23年)
- 森鷗外・夏目漱石住宅
  - ・映画「鍋島 貞の記」(平成20年)
  - ・映画「レオニー」(平成21年)
  - ・映画「聯合艦隊司令長官 山本五十六」(平成23年)
- 北里研究所本館・医学館
  - ・NHKドラマ「花子とアン」(平成25年)

( )は撮影年

- ・ 歴史ある建造物において、数多くの映画・ドラマを撮影
- ・ 体験型イベントが好調
  - 赤ゲットの幽霊 (7/11~9/23)
  - 大逆転裁判 容疑者・夏目漱石失踪事件 (9/12~12/6)



**【ご注意】**

この資料には、予想数値・概算値等が含まれており、今後の経済状況の変化によっては、数値が修正されることがございますので、あらかじめご了承ください。